

【概要版】 第3期常滑市国民健康保険データヘルス計画 第4期常滑市特定健康診査等実施計画

1 計画の趣旨 (本冊P. 2)

◆背景と目的

被保険者の健康寿命延伸を目的として、特定健康診査等の結果やレセプトデータ等の医療情報の分析結果から課題を把握してPDCAサイクルに沿った保健事業の実施および評価を行うために策定した。

◆計画の位置づけ

『第4期常滑市特定健康診査等実施計画』と一体的に策定し、健康増進計画等の各計画との調和を図る。

◆計画の期間

令和6(2024)年度～令和11(2029)年度

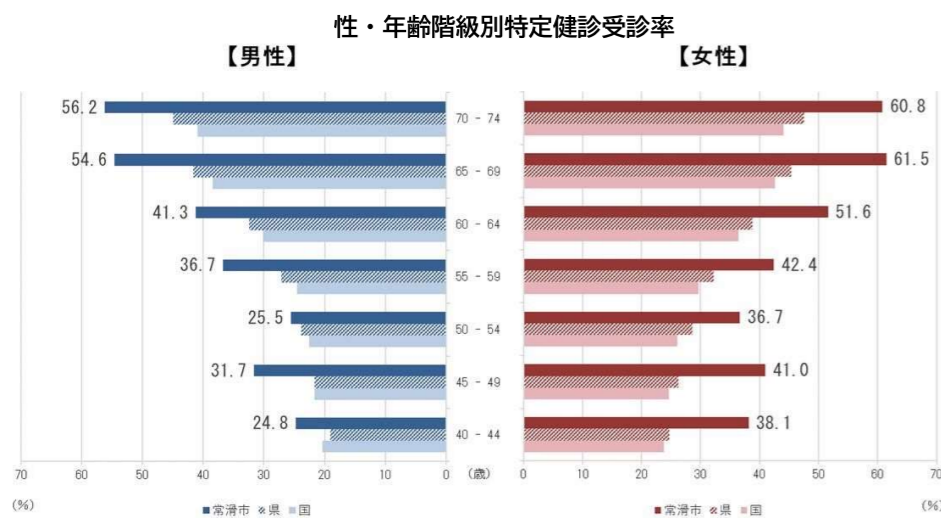
2 現状と健康課題 (本冊P. 4-5、25-36)

人口・国保保険者数

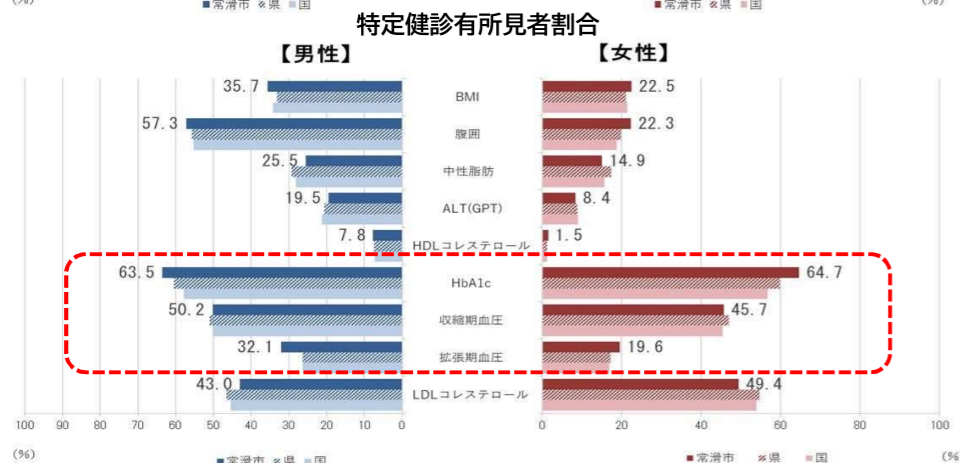
令和5年3月31日時点

	全体	%	男性	%	女性	%
人口(人)	58,472		28,931		29,541	
国保加入者数(人) 合計	10,077	100%	4,890	100%	5,187	100%
0~39歳(人)	2,285	22.7%	1,143	23.4%	1,142	22.0%
40~64歳(人)	3,196	31.7%	1,597	32.6%	1,599	30.8%
65~74歳(人)	4,596	45.6%	2,150	44.0%	2,446	47.2%
平均年齢(歳)	54.0		53.3		54.7	

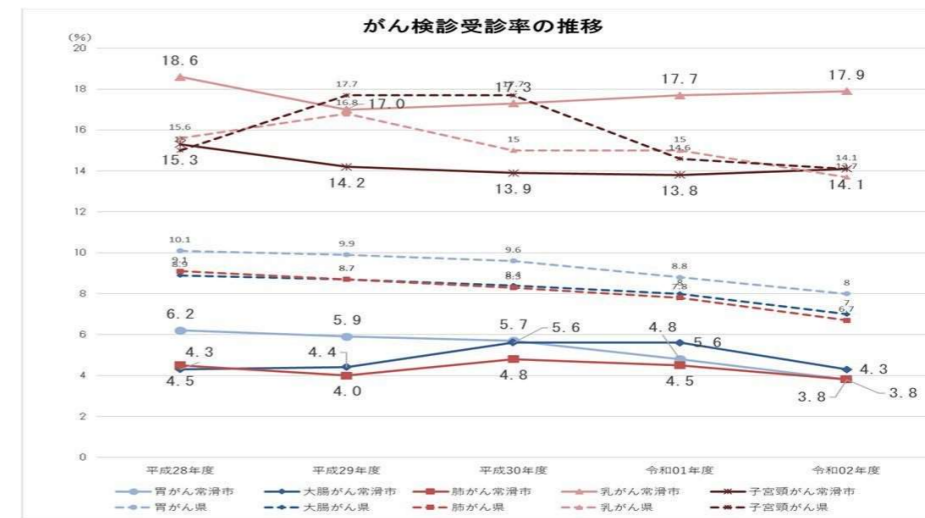
人口に占める国保加入率は17.2%で、被保険者は年々減少している。65~74歳の加入者が半数近くを占めている。



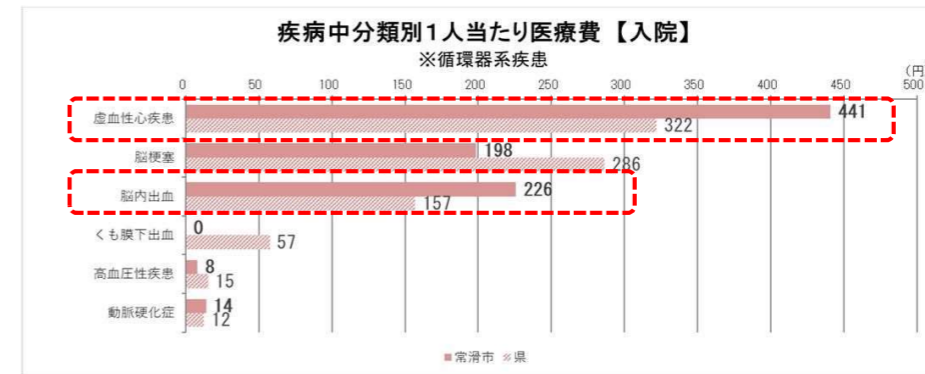
特定健診受診率は全体的に国・県平均を上回っている。ただし、50~54歳の区分で男女ともに受診率が低くなっている。



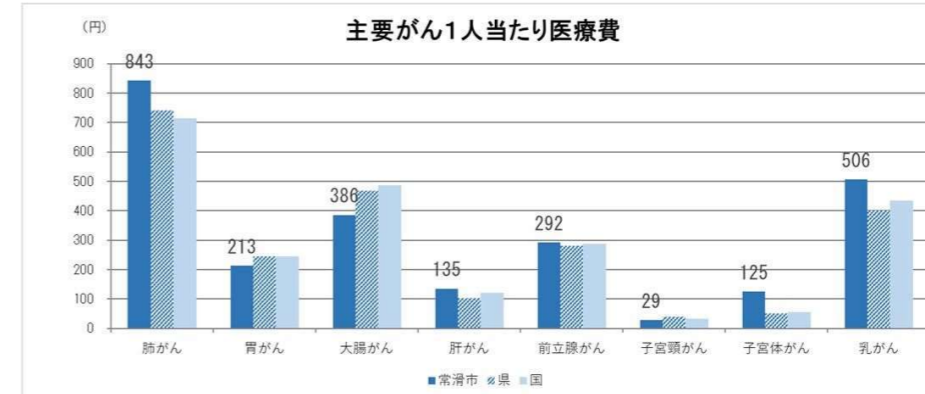
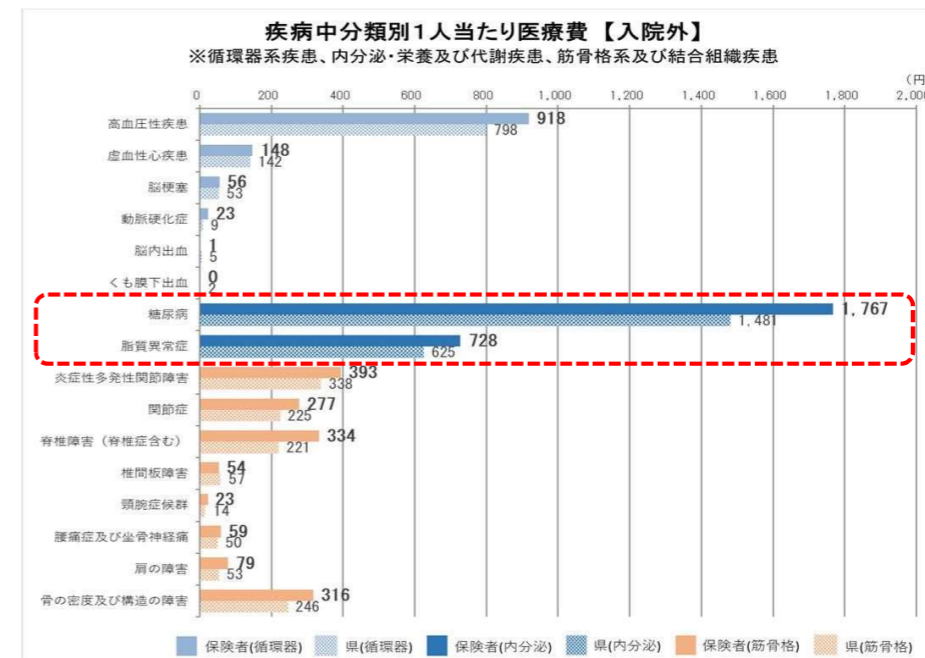
健診受診者の内、HbA1cおよび拡張期血圧の有所見者が、国・県と比較して多くなっている。



「胃がん」「大腸がん」「肺がん」は県よりも低い受診率で推移している。



医療費は、【入院】では「虚血性心疾患」「脳内出血」が県よりも多くなっている。【入院外】では「糖尿病」「脂質異常症」が県よりも多くなっている。



主要がん1人当たり医療費の内、「肺がん」「乳がん」「大腸がん」の順にかかる医療費が高い。また「肺がん」「乳がん」は国・県よりも医療費が高くなっている。

3 分析結果に基づく健康課題（本冊P.6）

	健康課題	優先する健康課題	対応する事業番号
A	「1人当たり医療費」が経年的に県より高い水準で推移している。入院外の「循環器系の疾患」が県平均よりも高い。循環器系疾患の中で入院の「虚血性心疾患」「脳内出血」、入院外の「高血圧性疾患」が県より高く、男女ともに健診での「拡張期血圧」有所見割合が県・国よりも高い。	✓	1,2,3,4
B	「内分泌、栄養及び代謝疾患（入院外）」の内訳として「糖尿病」「脂質異常症」の順にいずれも県より高く、「被保険者10万人当たり糖尿病患者数」も県より高い状況で推移している。特定健康診査有所見者割合では「HbA1c」が県・国より高い。	✓	1,2,3,5
C	「メタボ該当者割合」「メタボ予備群割合」が県と同程度から県より高い割合となっている。特に女性のメタボ該当割合がほぼすべての年代で高く、男性の予備群割合が比較的若い世代から多いことから若年層の健康意識が高くないことが伺える。		1,2,7
D	死因として男女ともに「大腸がん」の割合が高く、「新生物（入院外）」の医療費も県より高い。また、胃がん、大腸がん、肺がんの検診受診率は県より低い。		6

4 計画全体の目的（本冊P.6）

生活習慣病の発症および重症化予防を図り、医療費適正化を目指す。

5 目標・目標値（本冊P.7）

☆「第四期常滑市特定健康診査等実施計画」の関連項目

目標	評価指標	指標の定義	計画策定時実績	目標値						
			R4年度(2022)	R6年度(2024)	R7年度(2025)	R8年度(2026)	R9年度(2027)	R10年度(2028)	R11年度(2029)	
生活習慣病の重症化を予防する	☆特定健康診査実施率の向上	特定健診受診率	50.8%	52.0%	53.0%	55.0%	56.0%	58.0%	60.0%	
	高血圧症の割合の減少	高血圧症の保有率（40-74歳）・AI Cube	28.1%	27.2%	26.2%	25.3%	24.4%	23.9%	23.0%	
	健診でのHbA1cの有所見者割合の減少	有所見割合（HbA1c5.6%以上該当者）	64.1%	63.4%	62.7%	62.0%	61.3%	60.7%	60.0%	
	☆特定保健指導実施率の向上	特定保健指導終了率	32.0%	34.2%	36.3%	38.4%	40.6%	42.8%	45.0%	
	☆メタボリックシンドローム該当者及び予備群の減少率（2010年比）	特定保健指導対象者の減少率	6.6%	7.3%	8.0%	8.8%	9.6%	10.3%	11.0%	
がんの早期発見・治療のため検診の受診率向上を目指す	大腸がん検診受診率の向上	受診率（40-69歳）	4.8%	5.2%	5.6%	6.0%	6.4%	6.8%	7.3%	

6 目標を達成するための戦略(事業の概要)（本冊P.7-17）

☆「第四期常滑市特定健康診査等実施計画」の関連項目

事業番号	事業分類	事業名	事業の概要	重点・優先度
1	☆特定健康診査	特定健康診査	身体状態の把握を行うことで生活習慣病の早期発見・予防につなげるために特定健康診査を実施する。	重点
2	☆特定保健指導	特定保健指導	特定健康診査の結果、生活習慣の改善が必要と判断されたものに対し支援等を行い、生活習慣病の発症リスクの早期改善を図るため、特定保健指導を実施する。	重点
3	重症化予防（受診勧奨）	要医療判定値を超えている未治療者への対策	特定健康診査の結果、血圧・血糖値において要受診判定があり、医療機関未受診者に対して受診勧奨を行い、医療機関受診につなげ、重症化を予防する。	重点
4	重症化予防（保健指導）	生活習慣病予防教室	非肥満有所見者に対し、生活習慣予防について栄養・運動・口腔に関する集団健康教育を実施し、生活習慣病発症リスクの低下を図る。	
5	重症化予防（保健指導）	糖尿病性腎症重症化予防保健指導事業	糖尿病の重症化リスクが高い者に対し、医療機関と連携して、栄養・運動・口腔に関する保健指導を行って生活習慣改善につなげ、糖尿病と腎症の重症化を予防する。	
6	その他	がん検診の受診勧奨	受診率の低い大腸・肺がん検診について個別案内を送付し、検診受診につなげる。	
7	その他	若年層向け健診（ヤング健診）	40・50歳代の生活習慣病の発症を水際で抑制するため、30歳代までに生活習慣を見直すきっかけをつくるため、特定健康診査に準じた健康診査を実施する。	
8	重複・頻回受診、重複服薬者対策	重複・頻回受診者訪問	重複・頻回受診者に対して訪問指導を行い、健康状態や生活状況を把握し、適正受診や服薬指導を行う。	
9	後発医薬品利用促進	ジェネリック医薬品利用促進	国民健康保険新規加入者へカードの配布や各種通知送付時に案内を同封し周知を図るとともに、差額通知書を送付する。	

7 評価・見直し（本冊P.18）

個別の保健事業の評価は年度ごとに行うとともに、保健事業ごとの評価指標に基づき、事業の効果や目標の達成状況を確認する。

計画で設定した評価指標に基づき、年度ごと、中間時点等計画期間の途中で進捗確認・中間評価を行うとともに、計画の最終年度においては、次期計画策定の見据えて最終評価を行う。評価に当たっては、関係機関と連携を図るとともに常滑市国民健康保険運営協議会に報告し、意見を求める。